2027年６月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月５日

上場会社名　　株式会社アルペン　　上場取引所　東 名

コード番号　　3028　　ＵＲＬ　https://store.alpen-group.jp/corporate

代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）水野　敦之

問合せ先責任者　（役職名）執行役員管理本部長　　（氏名）清水　直輝　　ＴＥＬ　052-559-0121

配当支払開始予定日　　－

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無　　：有　（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．2027年６月期第１四半期の連結業績（2026年７月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年６月期第１四半期	71,830	9.8	2,040	230.7	2,470	154.1	1,559	157.3
2026年６月期第１四半期	65,424	4.9	616	△22.4	972	△24.0	606	△24.7

（注）包括利益 2027年６月期第１四半期 1,473百万円 （202.2%）　2026年６月期第１四半期　487百万円 （△7.8%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年６月期第１四半期	40.44	－
2026年６月期第１四半期	15.72	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年６月期第１四半期	223,395	126,482	56.6	3,280.30
2026年６月期	214,443	126,359	58.9	3,277.11

（参考）自己資本　　2027年６月期第１四半期　126,482百万円　　2026年６月期　126,359百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年６月期	－	25.00	－	30.00	55.00
2027年６月期	－				
2027年６月期（予想）		30.00	－	30.00	60.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年６月期の連結業績予想（2026年７月１日～2027年６月30日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期（累計）	147,000	7.2	4,550	21.9	5,185	15.3	3,210	16.4	84.44
通期	306,000	7.0	10,500	22.9	11,900	18.1	6,375	1.7	167.71

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

除外　1社　（社名）　株式会社エス・エー・ピー

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料Ｐ．７「２．四半期連結財務諸表及び主な注記（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：無
②　①以外の会計方針の変更	：無
③　会計上の見積りの変更	：無
④　修正再表示	：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年６月期１Ｑ	38,888,000株	2026年６月期	38,888,000株
②　期末自己株式数	2027年６月期１Ｑ	329,872株	2026年６月期	329,828株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2027年６月期１Ｑ	38,558,141株	2026年６月期１Ｑ	38,548,687株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 3
（１）四半期連結貸借対照表 …… 3
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書 …… 5
四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 7
（セグメント情報等の注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更） …… 7
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間（2026年７月１日～2026年９月30日）における事業環境は、雇用・所得環境の改善を背景に、国内経済は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、中東情勢をはじめとした地政学リスクの長期化や、原材料・エネルギー価格の上昇、金融市場の変動など、先行きの不透明な状況が続いております。

消費環境におきましては、食料品や日用品を中心に物価上昇が継続していることで、節約志向や選別消費といった慎重な消費行動が続いております。

スポーツ用品小売業界におきましては、健康志向の高まりや、注目度の高いスポーツイベントの開催などを背景に、競技・一般スポーツ市場を中心に堅調な推移が続きました。天候面におきましては、台風や局地的な大雨などの影響があったものの、前年に比べて季節相応に気温が低下したことが秋冬物商品の順調な立ち上がりにつながりました。

このような状況のもと、当社グループは、当連結会計年度より開始した「中期経営計画2029」における重点施策に基づき、旗艦店Alpen OSAKAをはじめとした新規出店や既存店改装、EC事業の強化など、売上成長・シェア拡大に優先的に取り組んでまいりました。

その結果、当第１四半期連結累計期間の売上高は前年を上回ることとなりました。商品部門別の概要といたしましては以下のとおりとなります。

ゴルフ用品の既存店売上高は前年実績を下回りました。取り扱いを強化している中古クラブや人気モデルの発売があったシューズは好調な推移となったものの、主力となるゴルフクラブの新製品発売や値下げの状況が前年と異なったこともあり、全体としては軟調な推移となりました。

競技・一般スポーツ用品、スポーツライフスタイル用品の既存店売上高は前年実績を上回りました。ランニング用品の好調が続くほか、ワールドカップ開催があったサッカー用品も販売を大きく伸ばしました。スポーツライフスタイルにおきましては、秋冬物の順調な立ち上がりに加え、機能性小物などの販売も好調に推移したことで売上を伸ばしました。

アウトドア用品の既存店売上高は前年実績を上回りました。天候面の影響でキャンプやマリンレジャー用品が低調に推移した一方、取り扱いを強化しているトレッキング用品とアウトドアアパレルが好調な推移となりました。

利益面につきましては、購買促進や在庫消化のための各種施策を実施した一方で、収益性改善に向けた取り組みや、季節商材の順調な販売動向によって、売上総利益率は前年より改善いたしました。

コスト面につきましては、新規出店や既存店改装による増加に加え、各種経費の値上がりが続いているものの、コスト管理の徹底により売上高販管費率は前年よりも改善いたしました。

これらの結果として、当第１四半期連結累計期間の営業利益は前年を上回ることとなりました。

店舗の出退店の状況につきましては、スポーツ業態３店舗、ゴルフ業態３店舗、アウトドア業態１店舗を出店し、スポーツ業態２店舗、ゴルフ業態２店舗を閉鎖した結果、当第１四半期連結会計期間末の店舗数はスポーツ業態191店舗、ゴルフ業態209店舗、アウトドア業態50店舗、その他2店舗の計452店舗となり、売場面積は537坪増加し265,151坪となりました。

なお、2026年9月末より、スポーツデポ店内にショップインショップ形式で展開する「ゴルフ５」、「アルペンアウトドアーズ」を1店舗としてカウントする方法に変更しております。

以上の結果、当第１四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、売上高71,830百万円（前年同期比9.8%増）、営業利益2,040百万円（同230.7%増）、経常利益2,470百万円（同154.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,559百万円（同157.3%増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第１四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ8,951百万円増加し、223,395百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が減少した一方、商品及び製品が増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ8,828百万円増加し、96,912百万円となりました。主な要因は、電子記録債務が減少した一方、支払手形及び買掛金が増加したことによるものであります。

純資産は、利益剰余金の増加等により前連結会計年度末に比べ122百万円増加し、126,482百万円となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2026年８月６日の「2026年６月期　決算短信」で公表いたしました第２四半期連結累計期間および通期の連結業績予想に変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年６月30日）	当第１四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,585	11,325
売掛金	13,861	12,618
商品及び製品	83,527	96,689
その他	4,660	4,431
貸倒引当金	△93	△93
流動資産合計	117,541	124,971
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	92,706	93,959
減価償却累計額	△66,139	△66,642
建物及び構築物（純額）	26,567	27,317
その他	45,220	46,006
減価償却累計額	△19,170	△19,372
その他（純額）	26,049	26,633
有形固定資産合計	52,616	53,951
無形固定資産	2,400	2,339
投資その他の資産		
差入保証金	20,630	20,647
退職給付に係る資産	5,293	5,310
その他	18,970	19,192
減価償却累計額	△2,957	△2,965
その他（純額）	16,013	16,227
貸倒引当金	△52	△52
投資その他の資産合計	41,884	42,133
固定資産合計	96,902	98,423
資産合計	214,443	223,395

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年６月30日）	当第１四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,931	29,788
電子記録債務	28,191	24,096
短期借入金	4,500	6,000
契約負債	3,560	3,553
引当金	385	1,206
その他	14,193	13,032
流動負債合計	68,764	77,678
固定負債		
長期借入金	8,000	8,000
リース債務	1,310	1,204
引当金	760	751
退職給付に係る負債	125	127
資産除去債務	7,785	7,830
その他	1,337	1,320
固定負債合計	19,320	19,234
負債合計	88,084	96,912
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,163	15,163
資本剰余金	21,626	21,623
利益剰余金	85,026	85,238
自己株式	△768	△768
株主資本合計	121,048	121,256
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,254	2,399
繰延ヘッジ損益	113	△27
為替換算調整勘定	54	63
退職給付に係る調整累計額	2,888	2,790
その他の包括利益累計額合計	5,311	5,225
純資産合計	126,359	126,482
負債純資産合計	214,443	223,395

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2025年７月１日 至　2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2026年７月１日 至　2026年９月30日）
売上高	65,424	71,830
売上原価	39,090	42,858
売上総利益	26,334	28,972
販売費及び一般管理費	25,717	26,932
営業利益	616	2,040
営業外収益		
不動産賃貸料	292	280
その他	298	372
営業外収益合計	590	653
営業外費用		
支払利息	30	57
不動産賃貸費用	158	154
その他	46	11
営業外費用合計	235	222
経常利益	972	2,470
特別損失		
固定資産除却損	0	5
その他	2	3
特別損失合計	2	8
税金等調整前四半期純利益	970	2,461
法人税、住民税及び事業税	363	902
法人税等合計	363	902
四半期純利益	606	1,559
親会社株主に帰属する四半期純利益	606	1,559

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2025年７月１日 至　2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2026年７月１日 至　2026年９月30日）
四半期純利益	606	1,559
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△179	144
繰延ヘッジ損益	3	△141
為替換算調整勘定	△85	9
退職給付に係る調整額	142	△98
その他の包括利益合計	△118	△85
四半期包括利益	487	1,473
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	487	1,473
非支配株主に係る四半期包括利益	―	―

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて算出しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

当社グループは、スポーツ関連商品の小売業以外の重要なセグメントはありませんので、セグメント情報の記載を省略しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更）

当第１四半期連結会計期間より、連結子会社であった株式会社エス・エー・ピーについては、重要性が乏しくなったため、連結の範囲から除外しております。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第１四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第１四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第１四半期連結累計期間 （自　2025年７月１日 至　2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2026年７月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	1,451百万円	1,502百万円
のれんの償却額	35百万円	35百万円